

2012年5月21日

報道関係各位

「JTの森 積丹」の間伐したカラマツ材を活用し、  
喫煙所パーティションを開発しました。

ハートツリー株式会社

ハートツリー株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：服部 進)は、「JTの森 積丹」(北海道積丹町)で間伐したカラマツ材を有効活用するために、間伐材を活用した喫煙所パーティションを日本たばこ産業株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：木村 宏)と共同企画しました。

今回、強度と耐久性が必要なパーティションの素材として、間伐材70%とプラスチック(ポリプロピレン)30%を混合する事で出来る新木材(木質プラスチックの新素材)の建材を開発し、パーティションの部材(仕切りの棒)として採用しました。

本共同企画により、今まで活用が難しかった間伐材の使用用途が広がり、JTの森の再生につながるとともに、喫煙所に活用することで、間伐材利用に対する認知度を高める効果が期待できます。

当社では、今後もこの新木材を活用した取り組みを推進していきます。



「JTの森 積丹」(北海道積丹町)のカラマツの間伐材を活用した喫煙所パーティション



パーティションに使っている看板はカラマツの間伐材にレーザー刻印したものです。

### 【木材比率 70%の新木材とは】

新木材（木質プラスチック）とは、木粉と樹脂を混合して成型加工できる、今までに無い全く新しい素材です。林地残材、間伐材や建材などの端材など今まで捨てられていた木材を、高付加価値な素材に変えることができます。木材だけでなく、紙ごみや有機廃棄物（コーヒー豆、梅干しの種など）でも素材として用いることが可能です。

従来品や木材と比較して下記のような特徴を有しています。

	再生木材、合成木材 (いままでの木質プラスチック)	新木材	木材
木材充填率	～55%	～70% (高い木質割合まで可能)	100%
加工性	押し出し成型など単純な加工に限る(建材が中心)	射出成型、押し出し成型、プレス成型など、柔軟に加工が可能	加工できるものが限られる
質感	見た目はプラスチックに近い	木質割合が高いタイプは、木の質感を持ち、香りも残っている	-
素材	素材は限定される	様々な素材を活用可能	-
反り	なし	なし	あり
維持管理	容易	容易	難しい
コスト	比較的安価	バージンプラスチックと同程度	加工コストが高い
環境性等 (トレーサビリティ、国産材利用、自給率)	素材は外材が主混ざっている素材を限定しにくい(トレーサビリティを確保できない)	どの地域の何の素材を使ったのかを把握できる(トレーサビリティの確保が可能)国産材利用により資源自給率を高める未利用資源の活用	自給率(30%未満(供給力に課題))



今回製造した間伐材 70%の新木材の押しだし棒

## 【JTの森とは】

日本たばこ産業株式会社(以下JT)が2005年から行っている国内森林保全活動で、整備が遅れている森林を一定期間借り受け、必要な整備を支援する取組み。

9カ所目にあたる”JTの森 積丹”では、約350ヘクタールの森林を対象に、海を育む水源の森づくりをめざして2010年より整備や生態調査などに取り組んでいる。

## 【会社概要】

ハートツリー株式会社

住所 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 郵政福祉琴平ビル1F

設立 : 2007年9月25日

代表取締役 : 服部 進

URL : <http://heart-tree.com/>

---

<本件に関するお問い合わせ先>

ハートツリー株式会社 担当: 興津 (おきつ)

TEL. 03-6268-8328 FAX. 03-6893-3344